

登録コード	SSA29608	開講年度	2026				
授業題目	特別研究（数学分野）					担当教員	栗林 勝彦
英文授業名	Special Research (Mathematics Division)					副担当	
単位数	4	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	不定期		
講義室					備考		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】				【授業の達成目標】		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP1】人類, 社会の平和的・持続的発展のために, 研究者・技術者として科学・技術を発展させるための学際的な幅広い見識と健全な倫理観				幾何学, トポロジーに現れる対象を通して数学における考え方の理解を深める.		
	2 4 SSカリ・理学						
	～24SS【DP2】環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養				幾何学, トポロジーに現れる対象を通して数学における考え方の理解を深める.		
	～24SS【DP3】それぞれの研究分野における高度な専門的知識とグローバルな情報収集・発信能力				幾何学, トポロジーに現れる対象を通して数学における考え方の理解を深める.		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学, 2 4 SSカリ・理学						
	【DP4】創造性豊かな優れた研究・開発能力				幾何学, トポロジーに現れる対象を通して数学における考え方の理解を深める.		
	【DP5】専門知識に基づいた見識を持ち, その妥当性を理論的に説明し, 議論する能力				幾何学, トポロジーに現れる対象を通して数学における考え方の理解を深める.		
	2 6 SSカリ・理学, 2 5 SSカリ・理学						
	【DP2】それぞれの研究分野における高度な専門的知識と環境調和社会, 知識基盤社会を支える高い知的素養				幾何学, トポロジーに現れる対象を通して数学における考え方の理解を深める.		
	【DP3】さまざまな課題に対処できる高い情報収集・分析能力とグローバルな情報発信能力				幾何学, トポロジーに現れる対象を通して数学における考え方の理解を深める.		
(2)授業の概要	先行研究の論文などを精読し, 研究テーマを設定する. テーマに基づいて研究を進め, セミナーを通じて内容の検討を行う.						
(3)授業のキーワード	位相幾何学だけでなく, 代数学や解析学など, これまでに学んだ内容すべてを必要に応じて活用することが求められる.						
(4)授業計画	おおむね前半のうちに研究テーマの設定を行い, 後半は独自の研究を進める. テーマが早く決まれば, 研究もそれに伴って早く開始する. 毎週1コマ以上のセミナーにより進め, 一月末日までに論文を完成させる.						
(5)成績評価の方法	論文の内容, ならびに毎回のセミナーで研究内容が適切に説明されているかにより評価する.						
(6)成績評価の基準	先行研究との正当な比較により, 研究内容の独自性が説明されているかを考慮し評価する.						
(7)事前事後学習の内容	毎回のセミナーで明らかになった問題点を検討するとともに, 次の課題に積極的に取り組む.						
(8)履修上の注意	自発的に題材を探し, 問題に取り組む姿勢が求められる.						
(9)質問,相談への対応	研究室(理学部A棟406)で適宜対応する.						
【教科書】	指定しない.						
【参考書】	指定しない.						